

第216回 津久井の歴史こぼれ話を語る会

## 有名武将が競って崇敬した不動明王

～ 津久井城跡西麓「不動平伝承」をたどる ～

語り手 石野 孝さん

日 時：令和元年12月15日（日）14：00 ～ 16：30（開場 13：30）

会 場：相模原市城山保健福祉センター 3階 第1会議室 定員60名(先着順)予約は不要です。

(緑区久保沢2-26-1：JR橋本駅北口より神奈中バス「三ヶ木」行きで「城山総合事務所入口」下車徒歩10分)

費用：500円（資料代）＊ご夫婦参加はペアで500円。中高生、大学生は無料です。

津久井城跡西麓に「不動平」と呼ばれ、かつてお不動さまが祀られていたと伝える地があります。

お不動さまは、「新編武蔵国風土記稿」の記述によると、平安時代の藤原秀郷、戦国時代の武田信玄・北条氏政・徳川家康が揃って崇敬しました。そして氏政は、「(信玄から)奪い取りて相州筑井縣地勝院に納む」とあります。織田信長が本能寺で横死し、徳川との甲斐国を巡る争奪戦(天正壬午の乱)の際、北条方津久井勢が奪ってきたものと考えられます。

江戸時代中ごろ、武蔵国幡ヶ谷村(現 渋谷区幡ヶ谷)の荘厳寺に納められ、現在に至っています。

そんなこんなを津久井との関わりを中心にその伝承をたどります。



幡ヶ谷不動尊(明治四十三年発行「代々幡不動尊縁起」口絵写真より)

幡ヶ谷不動尊(明治四十三年発行「代々幡不動尊縁起」口絵写真より)  
(「荘厳寺史」より)

主催：城山地域史研究会 会長 山口 清 協力：城山公民館

問い合わせ先：事務局 三宅 (090-3219-2805)